

長房・並木・城山手地域での健康な地域づくり事業

～地域住民と共働で行う健康づくり活動～

八王子保健所	
実施年度	開始 平成13年度 終了 平成14年度 (平成15年度 再継続予定)
背 景	介護保険制度による介護サービスの充実が進められている中、健康日本21では、健康寿命の概念が取り上げられ、介護を必要としないいきいきと生活できるための予防活動が、重要な課題となっている。市の保健活動も、これまでの寝たきり対策から予防活動への転換が求められているが、その活動手法はまだ十分に確立されていない。長房・並木・城山手地域は市内でも高齢化率が高く、また多くの困難事例が保健所、保健センターに持ち込まれる地域である。そこでモデル地域として、ヘルスプロモーションを理念とした健康な地域づくり活動を、市と共働で実施する。
目 標	地域住民の主体的参画を基本にした予防活動により、地域住民の健康の維持、増進を図り、寝たきりを予防することを目標とする。また、本事業をモデル事業として、他の地域へ広めていくための予防活動の手法を検証する。更にこれらの活動を市と共働で実施することを通し、保健所の市町村支援活動のあり方を検討する。
事業内容	八王子市保健センターと共同でプロジェクトチームを設置し、以下の活動を推進した。 1 住民との課題の共有化及び活動の検討：住民との健康づくりワークショップの実施 2 閉じこもり予防活動の拠点づくり (1) ワークショップから生まれた健康づくりボランティアによる閉じこもり予防活動への支援（月2回の定例会の運営支援） (2) 住民協議会や地域内の自治会と共同でのミニワークショップや健康教育の実施を通しての自治会による健康づくり活動の促進 3 活動の担い手となる住民への支援（地域リーダー講習会の実施） 4 住民活動グループのネットワークづくり 健康な地域づくりへ向けた自主的な地域活動グループの交流会の実施 5 これらの活動の振り返りを通した活動手法の検証（月1回の合同PT会議の開催）
評 価	1 健康づくり活動の手法の視点からの評価 平成13年度の地域の課題分析調査を素材としたワークショップ等は、住民及び自治会長等の地域リーダーの健康な地域づくりへの意識化を図る上で有効であった。それらを受け、地域ボランティアによる閉じこもり予防活動や自治会の健康づくり活動等が始まっている。 2 市町村支援の視点からの評価 市と現場を共有しながら活動することで、連携が強化され、地域組織活動やヘルスプロモーションに関する手法をお互いにスキルアップする機会となっている。また、八王子市の保健師の本事業による千代田保健推進賞受賞は、市の組織内でのヘルスプロモーションへの理解が促進された。 3 今後の課題及び計画 住民の自主活動の地域での定着及び住民活動のネットワークづくりを目指す。 さらに、ヘルスプロモーション理念に基づく健康づくり活動が市の施策の中で位置付けられるよう活動手法の分析評価が次年度の課題である。
問い合わせ先	八王子保健所保健サービス課保健指導係 電 話 0426(45)511 ファクシミリ 0426(44)9100 E-Mail S0200161/@/Section.metro.Tokyo

長房・並木・城山手地域での健康な地域づくり事業
～地域住民と共働で行う健康づくり活動～

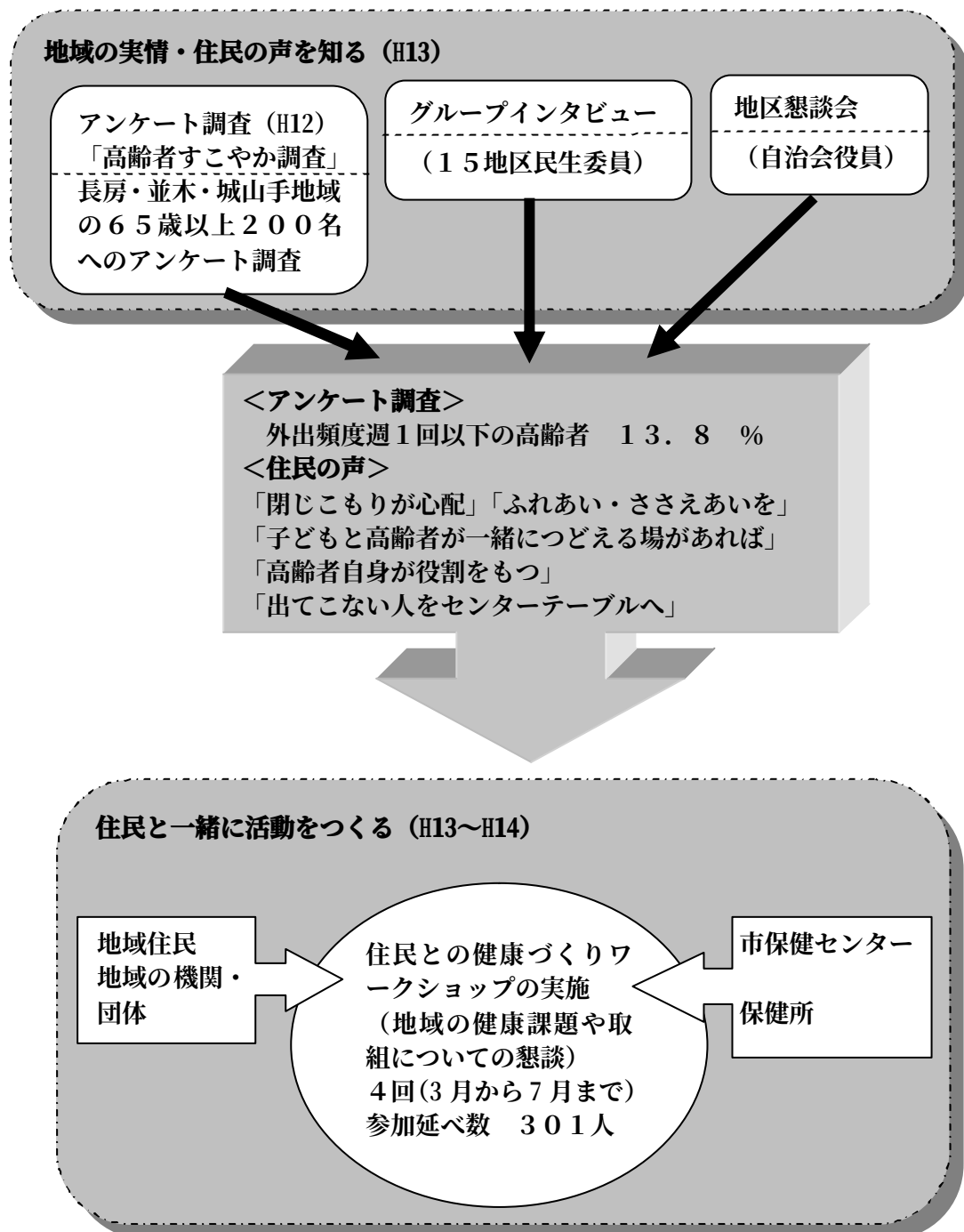
1 事業目的

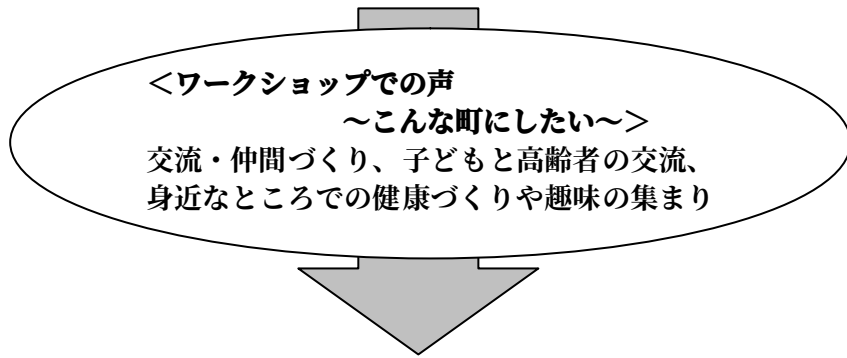
モデル地域において、住民とともに地域の健康問題を検討し、予防活動を行うことより、健康な地域づくりを進める。本事業を通して、これからの介護予防活動の方法を検証する。

2 実施体制

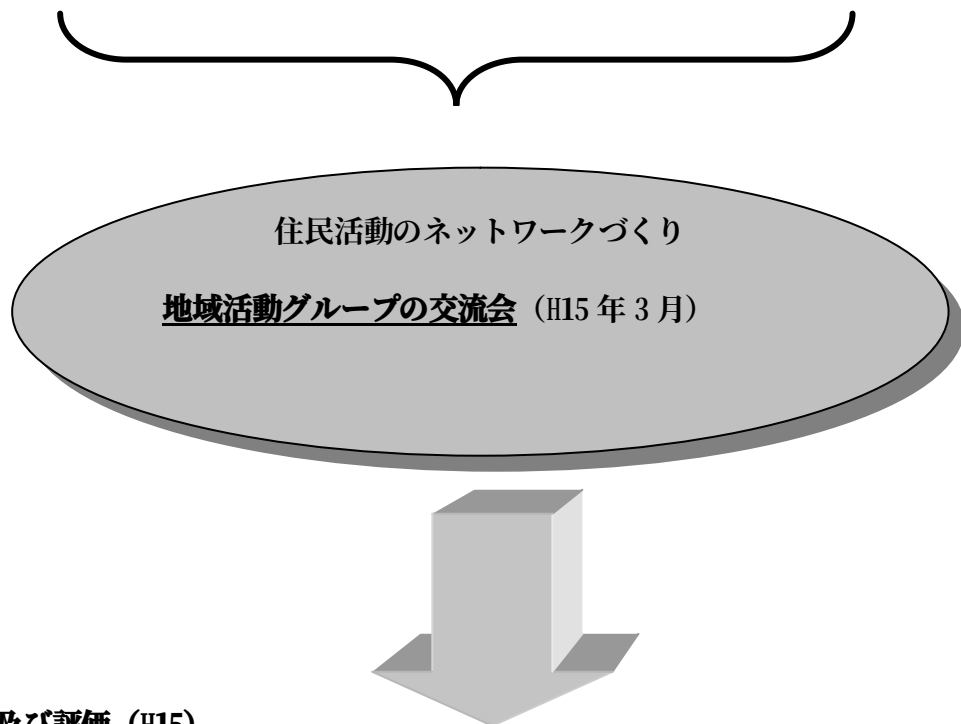
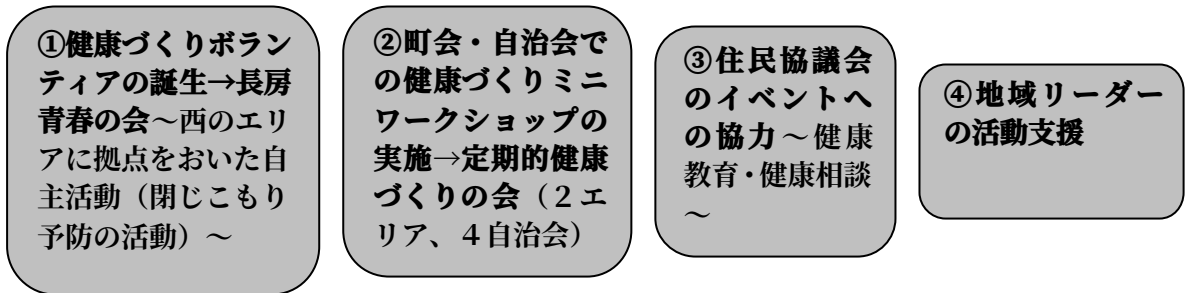
八王子市保健センターと八王子保健所の協働活動（それぞれの職員によるプロジェクトチームを構成）

3 H13～H14 年度の活動内容





住民と一緒に健康な地域づくりを進める（H14）



活動の定着及び評価（H15）

